Association for Arakawa International Communications
発　行　荒川区国際交流協会　　発行日　2021 年 9 月 1 日
〒 116-8501　荒川区荒川 2-2-3（荒川区役所地域文化スポーツ部文化交流推進課内）
TEL 03-3802-3798　FAX 03-3802-4769
Mail kokusai@city.arakawa.tokyo.jp　URL http://www.arakawa-kokusai.com

2021 September

荒川区 国際交流協会だより

荒川区国際交流協会で活動しませんか

当協会では、日本語教室・サロンや外国語への通訳・翻訳などのボランティアを募集しています。また、外国人の方も日本人の方もご参加いただける講座・イベントを開催しています。ボランティアとして活動したい方、国際交流に関するイベントに参加したい方は、協会会員の皆様に毎月お送りしている事務局便りのほか、ホームページに講座・イベント等に関する情報を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

協力会員

ボランティアとして活動したい方
・登録はホームページまたは窓口で
・登録は無料、外国語ができなくても活動できます。

活 動 例　☆日本語教室・日本語サロンにおけるボランティア
☆川の手荒川まつり、外国人によるスピーチ大会、ウィーン大学生インターンシップ受け入れ（ホストファミリー）等におけるボランティア

賛助会員

協会の設立趣旨や活動に協力したい方

会員の感想

Aさん：国際交流協会の会員になることは、1つの国際貢献です。

Bさん：在住外国人とふれあいたく、身近な交流に毎回楽しく参加しています。

Cさん：日本語サロンは、ボランティアと外国人参加者が会話を楽しみながらお互いの国の文化を学び、あわせて、外国人の方は日本語を学ぶ場となっています。ボランティア同士も和気あいあいと皆で話し合い、外国人のためにどうすれば良いか考えながら活動しています。

Dさん：賛助会員の特典で「日墺親善リサイタル」のチケットを購入し、オーストリア若手音楽家の演奏を聴きました。日墺の友好親善と素敵な音楽にふれることが出来ました。

荒川区国際交流協会の賛助会員を募集しています

当協会では、区内の外国人支援事業や日本人住民と外国人住民の多文化共生事業、国際交流事業に取り組んでおります。協会事業は、皆さまお一人おひとりのご支援により支えられています。詳細はお問い合わせください。

賛助会員

❶個人会員　一口　2,000円
❷団体会員　一口10,000円

賛助会員の特典

❶講座・イベント参加費の免除または割引
❷講座・イベント等への優先受付
❸事務局便りの送付による講座・イベント情報等のご案内

郵便振込　口座番号　００１９０－２－６６７８９６荒川区国際交流協会（手数料は協会で負担します）
※ご希望の方には指定の払込取扱票をお送りします。

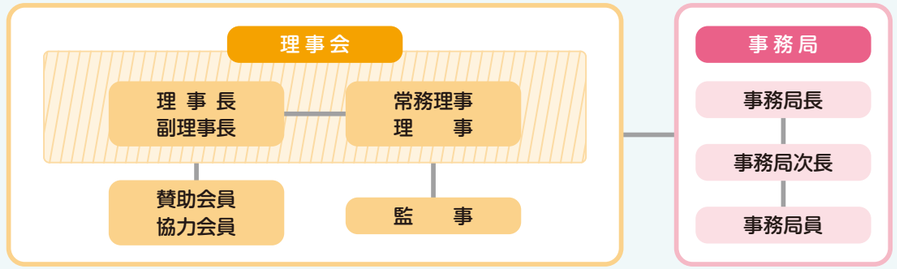
銀行口座
みずほ銀行三ノ輪支店
普通預金　１５７３６５０　荒川区国際交流協会
ゆうちょ銀行　店番号　〇一九（ゼロイチキュウ）店
当座口座　０６６７８９６　荒川区国際交流協会
※銀行口座への振込は振込手数料をご負担ください。

現　金　荒川区国際交流協会事務局窓口（区役所３階文化交流推進課内）

荒川区国際交流協会の紹介

荒川区国際交流協会(Association for Arakawa International Communications　以下「協会」といいます。)は、1993年10月21日に設立されました。在住外国人の支援、国際交流を推進し、区民の国際理解を深めることや、多様な文化が共生できる地域社会を実現することを目的としています。
協会では、区民の皆様によるボランティア活動や賛助会費などのご協力を得て、多文化共生を目指し日本語教室などの支援事業や日本語サロン、国際交流バスハイク、日本語スピーチ大会などの交流事業のほか、海外友好交流都市であるオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区との高校生相互派遣、大韓民国済州特別自治道済州市、中華人民共和国大連市中山区との交流事業など様々な草の根の交流活動を行っています。

荒川区国際交流協会の概要

事務局	荒川区地域文化スポーツ部文化交流推進課内
設　立	1993年10月21日
設立趣旨	下町人情に富んだ荒川区の区民性を生かし、異なる文化間の心の垣根を取り払いながら、下町らしい、草の根で手づくりの国際交流を進める。
組　織	【理事会】理事長・副理事長・常務理事・理事・監事(区職員兼務) 【事務局】事務局長(地域文化スポーツ部長) 事務局次長(文化交流推進課長) 事務局職員(都市交流係職員) 
事業目的	協会は、国際交流活動の拠点として国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的に、様々な事業を行う。(会則第3条、第4条)
主な事業	(1) 国際交流事業の計画と実施 (2) 国際理解事業の計画と実施 (3) 在住外国人支援事業の計画と実施 (4) 外国都市との交流の推進 (5) 国際交流に関する広報、調査、研究 (6) 国際交流関係機関、団体等との連絡及び協力 (7) 区又は他の公共的団体からの受託事業 (8) その他協会の目的の達成のために必要な事業

※掲載の写真は2019年以前に開催された事業の写真です。

海外友好交流都市の紹介

荒川区が友好提携をしている海外交流都市は、オーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、大韓民国済州特別自治道済州市、中華人民共和国大連市中山区の3都市です。荒川区国際交流協会では、海外交流都市の魅力を伝え、区民の方を主体とした草の根活動を推進するために、様々な交流事業を実施しています。

ウィーン市ドナウシュタット区

荒川区とウィーン市ドナウシュタット区は、1992年から両区の児童絵画展を相互に開催したことを契機に交流が始まり、両区区長による相互訪問や、東京荒川少年少女合唱隊の派遣を通じて交流を重ね、1996年10月21日、友好都市提携の調印を行いました。
ドナウシュタット区には、「Nippongasse(日本小道)」や「Tokiostraße(東京通り)」と並んで「Arakawastraße(荒川通り)」と「Ogugasse(尾久小道)」があり、荒川区との友好交流を記念して命名されました。また、「荒川区と友達」というモザイク壁画も設置されています。
荒川区にも南千住駅東口に区名を冠したドナウ広場やドナウ通り、彫刻「ドナウの調べ」が設置されています。この地名に刻まれた友好交流は、両区民共有の財産として、生活に息づいています。

済州市

済州島は韓国の最南部に位置し、中央にそびえる韓国最高峰の漢拏山(ハンラサン：標高1,950m)と様々な形状の海岸線を有する景観の美しい島です。2011年には、「世界7大自然景観」に選定されました。
済州島は古くから日本との行き来が盛んで、荒川区には済州島出身者が多く居住しています。荒川区と済州市は、2006年2月17日に友好提携を調印しました。
済州市は済州道の北半分に位置し、済州道庁をはじめ、各国の領事館、高等教育機関、商業施設等が集積しています。また、映画やテレビドラマの撮影地としても有名です。

大連市

中国東北部最大の工業生産額を誇る大連市には、多くの日系企業が事務所を構え、留学生など長期滞在の邦人も大勢います。中山区は、歴史的な建築物と再開発された近代的な超高層ビルが建ち並ぶ、景観の美しい街です。
大連市で毎年開催されている国際ファッション祭は、2006年からは国家事業となりました。また、中国初のモデル養成学校が大連市内にあり、大連市は中国のファッションの中心地となっています。荒川区と大連市中山区は、2006年3月10日に友好提携を調印しました。大連モデル芸術学校の学生が来日し、11月に開催される「日暮里コレクション」に参加していました。

協会事業の紹介

在住外国人支援事業〈荒川区の在住外国人に対する支援事業〉

外国人のための日本語教室

専門の日本語講師の指導と日本語ボランティアの皆様の支援により、外国人の方々が初級の日本語と日本の文化風習を学んでいます。日本語教室は、外国人支援という目的のほかに、ボランティアと外国人の方々が、日本語や日本文化を通してお互いに学び、理解し合う場でもあります。日本語教室では毎年100人程度の外国人の方々を受け入れ、決められたテキスト内容を習得できた方に対して、修了証を発行しています。

日本語教室ボランティア養成講座

日本語教室で日本語ボランティアを希望する方々のために、日本語教授法の基礎を勉強していただく講座を開講しています。

通訳ボランティア勉強会

保健所における母子健診や高校進学ガイダンス等、荒川区内に住む外国人のサポートをする登録通訳ボランティアのスキルアップを図るため、勉強会を開催しています。

外国人のための防災講座

荒川消防署と尾久消防署と連携・協力し、日本語教室及びサロンの受講生や区内日本語学校に通う外国人を対象に、防災の知識を学ぶとともにＡＥＤの使用体験等を実施しています。

国際理解・啓発事業〈荒川区における国際理解、啓発を深める事業〉

日本語サロン

日本語ボランティアと外国人の方々が、日本語で会話しながら、お互いの文化を学び、日本の文化や生活習慣を理解する場として、日本語サロンを実施しています。サロン形式となるため、気軽に参加していただけます。

※親子サロン…少人数でご家族と一緒に気軽に参加していただけます。

世界の料理教室

外国人と日本人の方々が料理を通じて、母国の文化を伝え合い、交流することを目的に、料理教室を開催しています。料理は日本や外国の伝統料理等を作ります。

広報宣伝活動

協会活動を広く周知するため、様々な媒体を用いて広報活動を行っています。

・協会だよりの発行（年1回）
・協会事務局だよりの発行（毎月1回）
・多言語ミニ情報の発行（毎月1回）
・区報、ホームページ、区営掲示板による広報（随時）

交流事業〈区民相互の交流事業〉

川の手荒川まつりへの出展

世界の民族衣装試着・撮影コーナーを設け、異文化に触れて楽しんでもらうとともに、国際交流協会の活動をＰＲしています。

国際交流サロン　茶道教室

洗練された作法にしたがってお茶をいただく日本独特の文化である茶道を通して、外国人の方々が日本の伝統文化を学びます。ボランティア講師の協力により、楽しく交流しながら体験します。

国際交流サロン　華道教室

外国人の方々と一緒に日本の四季の美しさや伝統文化を知ることを目的に、ボランティア講師の協力により、生け花の基本を学び、交流しながらフラワーアレンジメントを作ります。参加した方々から「花と向き合っていると元気が出ます」と好評です。

外国人による日本語スピーチ大会

外国人の方々に、日本に住んで感じたことなどを発表する機会を提供するとともに、区民が外国人に対する理解を深めることを目的として開催しています。

※この大会は東京荒川ライオンズクラブ、東京荒川西ライオンズクラブ、東京荒川ロータリークラブ、東京リバーサイドロータリークラブの協賛により開催されています。

国際交流バスハイク

区内在住・在勤・在学の外国人と日本人の方々が、荒川区の国内交流都市へ日帰り旅行を行い、国際交流を深めています。

外国人のための浴衣体験＆日暮里・谷中散策

日本の伝統衣装である「着物」のうち、比較的容易に着ることができる浴衣の着付けを体験してもらうとともに、日暮里周辺を散策します。浴衣を着る機会の多い初夏に実施し、地域の盆踊りや花火大会など、夏の伝統行事への参加をおすすめしています。

交流事業費〈世界の国々との友好交流事業〉

ウィーン市ドナウシュタット区との高校生相互派遣

荒川区とオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区は、1996年に友好都市提携をして以来、相互に高校生を派遣しています。事前研修では、簡単なドイツ語講座や自由研究の準備などを行い、ウィーンでの研修中は、ウィーンの各所を視察、見学するとともに、ドナウシュタット区の高校生の家庭にホームステイし、英語でコミュニケーションを取りながら親睦を深めます。帰国後は報告会を行い、レポートを作成します。また、ドナウシュタット区からの高校生を受入れます。
この研修に参加した方々の中には、その後、大学で外国語を選考する方や海外の大学に留学した方もおり、区内高校生の貴重な国際体験の機会となっています。

日墺親善リサイタル

荒川区とウィーン市ドナウシュタット区の友好提携事業として、オーストリア大使館が招聘した若手音楽家を荒川区に招き、日墺文化協会、荒川区芸術文化振興財団（ＡＣＣ）の協力のもと、日墺親善リサイタルを開催しています。

※この事業は、東京荒川ライオンズクラブ、東京荒川西ライオンズクラブ、東京荒川ロータリークラブ、東京リバーサイドロータリークラブの協賛により実施しています。

オーストリア大使館「アーティストインレジデンス」への支援

オーストリア大使館の依頼を受けて、荒川区の借り上げ住宅に滞在しているオーストリア人芸術家の生活をサポートしています。

ウィーン大学生　インターンシップ受け入れ

2005年からオーストリア共和国立ウィーン大学東アジア学科で日本語を学ぶ大学生を受入れ、荒川区役所や区内の施設にてインターンシップ研修を行っています。インターンシップに参加する研修生の生活は、区内から応募のあったホストファミリーによって支えられています。